

昭和イーグルスが 群馬県制覇!!



昭和イーグルス優勝の軌跡(全日本学童野球群馬県予選)

決勝	昭和イーグルス(利根沼田)	5-1	葦川レッズ(太田)
準決勝	昭和イーグルス(利根沼田)	8-7	リトル大胡スターズ(前橋)
準々決勝	昭和イーグルス(利根沼田)	8-7	休泊ジュニア(太田)
2回戦	昭和イーグルス(利根沼田)	18-4	西小ファイターズ(桐生)
1回戦	昭和イーグルス(利根沼田)	23-1	笠懸東小イースターズ(みどり)

昭和イーグルス(堤輝人監督)選手一覧

※敬称略、選手の所属は南小学校

背番号	守備	名前・学年	背番号	守備	名前・学年
10	内野手	高橋 雄大(6年)【主将】	6	投手	堤 大偉也(5年)
0	外野手	鶴淵 優月(6年)	7	外野手	新木 亨菜(6年)
2	内野手	金井 大知(6年)	8	//	新木 衛人(6年)
3	//	フンティラ ユウト(6年)	9	//	高橋 湊(4年)
4	//	綿貫 花穂(5年)	11	//	吉野 心絆(3年)
5	捕手	茂木 一(6年)	12	//	高橋 大空(4年)

少年野球の全日本学童軟式野球大会群馬県予選が行われ、昭和イーグルスが見事初優勝し、8月に新潟で行われる全日本大会の切符を手に入れました。(写真は昭和イーグルス出身の鶴淵美月さん、綿貫花菜さん撮影)

価値ある初優勝

大会は、4月18日から5月5日にかけて前橋市内で開かれました。利根沼田支部代表として出場した昭和イーグルス(堤輝人監督)は、まず初戦を大差で勝利。続く2回戦では、先制を許すも、金井大知君の満塁本塁打で流れを変えてコールド勝ちと、幸先よいスタートを切りました。

準々決勝では、2点リードされる苦しい展開でしたが、主砲の茂木一君が最終回に走者一掃の三塁打を打ち見事サヨナラ勝ち、チームも勢いに乗りました。接戦となった準決勝はなんとか逃げ切り初の決勝進出。決勝戦は、県大会初先発のフンティラユウト君が好投、主将の高橋雄大君も投打に活躍し見事初優勝に輝きました。

通算40回を数えるこの大会で、利根沼田支部代表の決勝進出は4回と少なく、チームのベンチ登録選手も12人と少ない逆境の中、選手全員が一丸となって偉業を達成しました。

優勝ナインが役場に凱旋

昭和イーグルスナインは5月11日、堤監督と高橋進保護者会長とともに役場を訪れ、堤村長に県大



準々決勝

5月3日



春の優勝チームに対し、最終回に茂木一君が三塁打を放ち劇的な逆転サヨナラ勝ち。



決勝

5月5日



県大会初先発のフンティラユウト君と、主将の高橋雄大君が失点1を守り切り、打っては高橋雄大君が3安打と活躍、優勝を決めた。



2回戦

4月25日

先制されたものの、金井大知君の満塁ホームランで流れを変え、見事逆転勝利。



準決勝

5月4日



最終回の7回表に三点本塁打を浴びるなど、追いつかれる苦しい展開だったが、なんとか後続を断ち逃げ切った。



役場を訪れ優勝を報告したナインと堤監督

会優勝と全国大会出場を報告しました。
報告会で堤村長は「明るいニュースであり、皆さんのおかげで村が勇気をもらった」と労いました。昭和イーグルスの堤監督は「明るい報告ができよかった。子どもたちは一試合、一試合成長し頑張ってくれた」と述べ、また主将の高橋雄大君は「この優勝は、チームのみんなと保護者の皆さん、一歳上の先輩方が卒業しても見に来てくれたおかげ。感謝の気持ちを忘れず、全国大会でも悔いがない試合を進め、また優勝旗を持ってきたい」と健闘を誓いました。